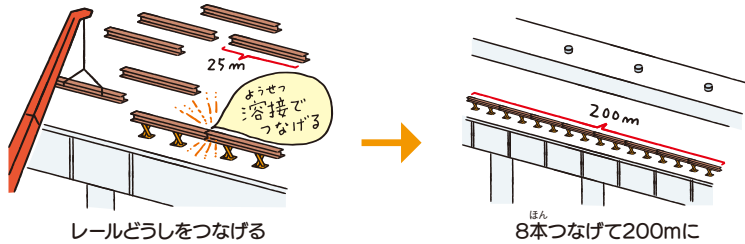


工事の進め方を見てみよう!

その4 レール敷設工事

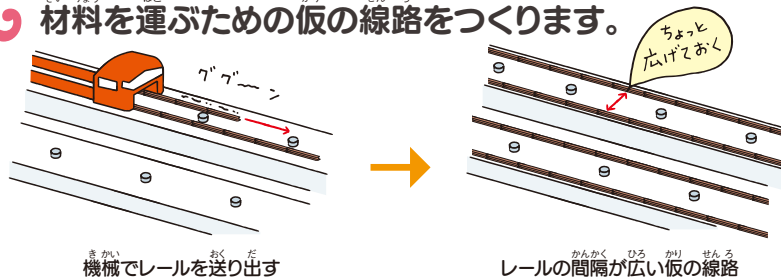
1 新幹線が走るレールを敷きます。運んできたレールをクレーン車で高架橋に吊り上げます。1本25メートルのレールを8本つなげ、200メートルの長いレールにします。



レールどうしをつなげる

8本つなげて200mに

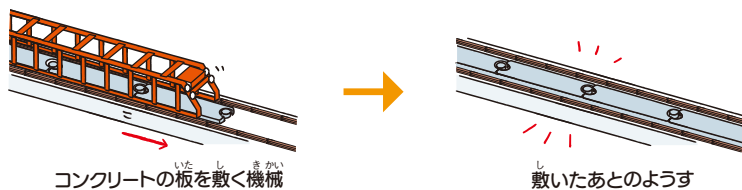
2 長くしたレールを使って、材料を運ぶための仮の線路をつくります。



機械でレールを送り出す

レールの間隔が広い仮の線路

3 仮の線路の上に機械を走らせてレールの間にコンクリートの板を敷いていきます。

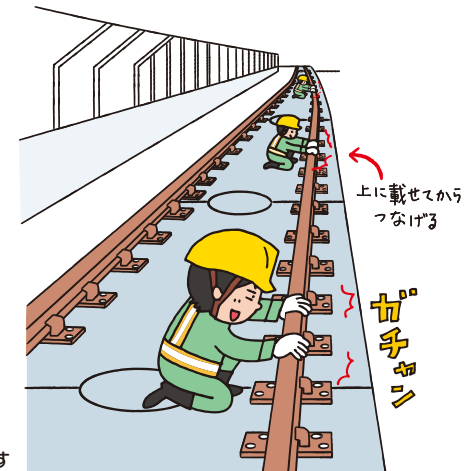


コンクリートの板を敷く機械

敷いたあとのようす

福井県内の新幹線が走る区間では、1本25mのレールが約13,300本使われます。ここでは、新幹線が走るレールを敷く工事を紹介します。

4 コンクリートの板の上にレールを載せ、数キロメートルから数十キロメートルの長さにつなげます。



ひとりでレールをとりつけていきます

レールはどうやって運んでくるの?

製鉄所で作られた新幹線のレールは、船で近くの港まで運び、そこからトレーラーに乗せて現場まで運びます。



レールを船から陸揚げしているようす(敦賀港)